

4 ページ  
発信!奄美  
シマの  
自然と文化を  
世界へ!

発行：環境省奄美自然保護官事務所

## NEWS

このニュースレターでは、奄美群島にお住まいのみなさんに、世界自然遺産登録や国立公園指定に向けた取組状況をお知らせします。ぜひお読みいただき、奄美のことを一緒に考えていきましょう!

## LETTER



3月6日に「奄美地域の国立公園指定・世界自然遺産登録に向けた地域づくり検討会」を開催し、追手門学院大学教授の佐藤由美子氏、株式会社南方新社代表取締役の向原祥隆氏、鹿児島大学客員教授の小野寺浩氏による公開鼎談を行いました。テーマは「奄美の環境文化と地域づくり」。このような意見が交わされました。

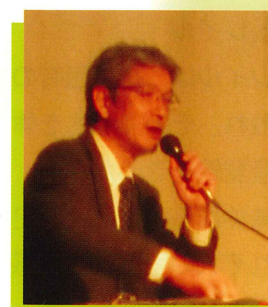
## ■ 佐藤由美子氏

・奄美は観光地らしくはないが感じの店もできてきており、これから良い感じで成熟していくのではという期待感をもっている。  
・観光地らしくないところが魅力であり、しかも関西からだとも1.5時間で来られる。空き家に人が泊まれるようにして、集落に招き入れてもらえば、こんないいところはない。  
・ぜひ「1週間集落で暮らせる」プログラムを考案し、若い人たちを呼び込むモデルとなしてほしい。



## ■ 向原祥隆氏

・奄美は一つの国のようなもので、独自の衣食住がある。それが大事だと思う人が本を買ってくれている。  
・世界自然遺産への登録は大事なことで、島に住んでいると気づかなかったことが世界に認められたことで、島の人の誇りになる。



## ■ 小野寺浩氏

・歴史的にはもともとほとんどが農地で、山も一度は丸坊主にされた。その後、使われなくなった場所が森林に戻り、今に至っている。それほど奄美の自然には回復力がある。



国立公園指定・世界自然遺産登録を活かした  
奄美群島の地域づくりについて



2

世界自然遺産にして「ユネスコ」にいうがね。



そしたら「ユネスコ」は「IUCN」に島の様子を見てきて「調査」をたのむわけよ。



ユネスコからの一

3

その「IUCN」が決める「世界の侵略的外来種ワースト100」

ちゅつのがあつてや。ここにあらがる哺乳類14種類のなかに「ネコ、ヤギ、マングース」が入ってるってやね。島におるでしよ。



私たちが  
なにか?  
問題でも?

## IUCN(国際自然保護連合)

International Union for Conservation of Nature and Natural Resources

IUCN-国際自然保護連合は、1948年に設立されました。91の国々、127の政府機関、903の非政府機関、44の協力団体が会員となり(2012年11月現在)、181ヶ国からの約10,000人の科学者、専門家が、独特の世界規模での協力関係を築いている世界最大の自然保護機関です。(IUCN日本委員会HPより)

4

ちゅつわけて、ネコとかヤギとか外来種問題をひくく(早く)

「自然の分断」と「地元のやる気」の「ことを話せんかった!」ばつら! (失敗!) またの機会じゃや。

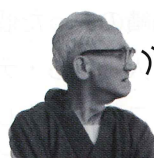
マングースの対策はOKだけど、残っているヤギとネコの対策強化は?

まだ必要...

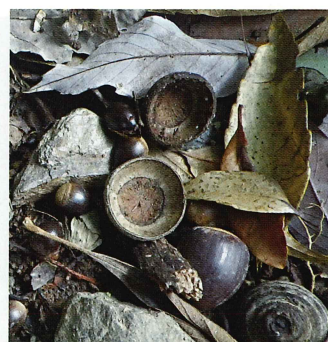
はいっ! がんばって!

うがしな...

※そうすか...



奄美大島ではドングリが豊作のようです。豊作になるとまずはドングリを食べるネズミや昆虫などの動物たちの数が増え、それらを狙う別の動物たちも増えます。また、動物に消化



されて排泄されたり、発芽せずに腐ったドングリが栄養分となって、土中の微生物や植物の生長を促します。イノシシやテナガエビもよく「肥える」ためおいしくなるそうです。栄養分は雨水とともに川を下って、干潟やサンゴ礁の生き物も支えていることでしょう。ドングリを見ていると大きな循環を感じずにはられません。

～コラム～  
奄美の山  
ひとり歩き

編集後記



久しぶりにノヤギの調査に行ってきました。海岸線の崖地を好むノヤギ。調査は、漁船に乗って、海からノヤギを数えます。2008年から奄美では、ヤギの放し飼いを禁止する条例が施行され、同年より野山にいるヤギはすべて飼い主のいないノヤギとして駆除が行われています。それにもかかわらず、この日も短時間で多くのノヤギを確認。問題の深さにため息の黒豚でした。(黒豚編集長)

連絡先：環境省奄美自然保護官事務所  
電話：0997-55-8620

1  
「ワットホン!」  
きゅつや  
なありくわつ  
難しい話ばしゅつ  
いま奄美は  
世界自然遺産を  
目指してるがね。でも、  
本当に大丈夫かい?  
ちゅつえたら  
じいちゃんば  
夜も眠れんわけよ  
じいちゃん昨日  
なしたやね?  
つんぱい  
かい? グーおとた。

この調査結果を「ユネスコ」が「判断材料」にするちゅつがね。

フンフン♪  
ナルホドネー

国立公園指定や世界自然遺産登録をきっかけに、自然環境の保全と地域の発展との両立を目指すため、さまざまな取組が進められている奄美群島。行政機関による“奄美ならではの”取組を紹介します。



② 全長は数百キロに及び、起点から終点までを通して歩く利用も想定します。

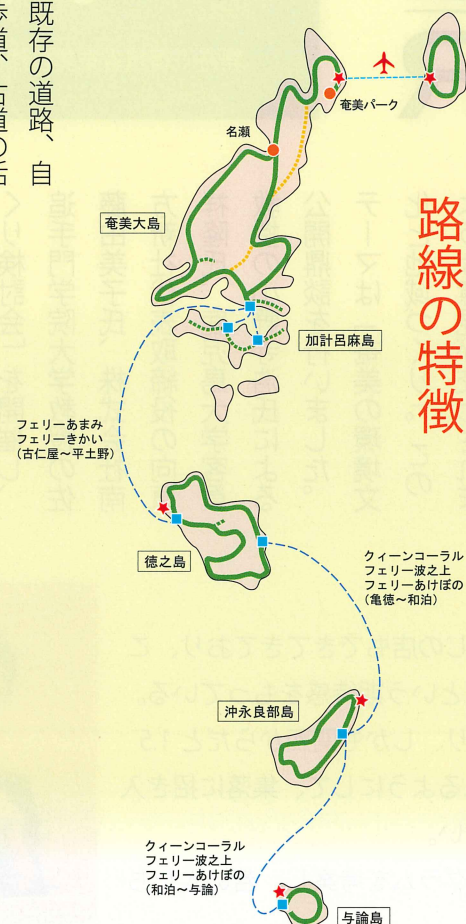
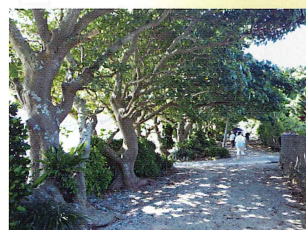


① 1日利用を中心とし、10 km程度の歩ける区間の積み重ねで構成します。

③ 既存の道路、自然歩道、古道の活用を基本とし、各島の自然、風景、歴史・文化の魅力資源をつなぐとともに、安全性、歩くための利便などに配慮しながらルートを設定します。



④ ルートマップや誘導標識を頼りに、既存の公衆トイレや食事処で休憩を取りながら自分のペースで歩いて楽しめます。



| 凡        | 例                |
|----------|------------------|
| ＜トレイル路線＞ | 本線<br>枝線<br>候補路線 |
| ＜島間連絡路線＞ | 空路<br>定期航路       |
| ＜交通拠点＞   | 空港<br>港          |

## 期待される効果

① 道の途中でイベントや体験活動、集落ガイドなどを行うことで、来島者との新たな交流の創出や地域活性化に活用できます



② 島から島へと人を誘導し、群島全体の地域経済や産業の振興に活用できます

③ 島々の各団体や個人のつながりをさらに深められます

### ●奄美世界自然遺産トレイル

奄美世界自然遺産トレイルは、奄美固有の自然と文化に歩いて触れ、その奥深さを体験できる道です。遺産登録をきっかけに、来島者や地域住民が奄美群島の自然・歴史・文化のつながりとそれぞれの固有性を実感できるよう、群島の全市町村を「歩く道」でつなぎます。鹿児島県がこれから国や市町村と調整しながらルートを設定するもので、観光のためだけでなく住民が地域のために活用する場としても期待されています。



# 奄美世界自然遺産トレイル



## ●世界自然遺産登録候補地 「奄美・琉球」の島々 ～加計呂麻島～



### ①ガジュマル

島内には巨大で特徴的なガジュマルが多く残されています。涼しげな木陰を作り出すとともに、樹上に棲むといわれるケンムンの気配が感じられそうです。



瀬戸内町の古仁屋から大島海峡を挟んで対岸に位置する加計呂麻島。「にほんの里100選」や「島の宝100景」に選ばれるなど、のんびりとした雰囲気が残されているこの島の自然の魅力を紹介します。



### ②嘉入の滝

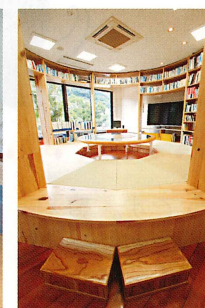
落差は約15m。古くは「ウティリミズ」と呼ばれ、聖なる流れとして崇められてきました。

### ③島案内人

瀬戸内町の島々に残る貴重な文化や歴史、自然などを学び、訪問者や住民にその魅力を伝え、実際に案内する島案内人の育成を町で取り組んでいます。今後の一層の活躍が期待されます。



## 奄美野生生物保護センターが 「かごしま・人・まち・デザイン賞」 大賞を受賞しました！



- 内部の展示空間構成や様々な展示が、とても洗練され分かりやすい。【講評（一部抜粋）】
- 奄美の深い亜熱帯の森に溶け込むような美しいものとなっている。【講評（一部抜粋）】
- 建物の外観は、外壁の色を落ち着いた濃い茶色で仕上げることで、背景の山の深い緑と調和した落ち着いた雰囲気となっている。【講評（一部抜粋）】



鹿児島県が県内の良好な景観の形成に特に功績のあった個人・団体を表彰する「第3回かごしま・人・まち・デザイン賞」において、一昨年に展示をリニューアルしました当センターが都市デザイン部門で大賞をいただきました。これからも奄美の自然を伝えるだけでなく、学習の場や憩いの場として地域の方々に親しまれ愛されるセンターを目指します。みなさんぜひお越しください。

